



「町ぐるみ白岡」だより



人形劇サークルあい

「コロナ禍のため公演を控えていましたが、来月の公演に向けて久しぶりの練習に熱が入ります」と語るのは、人形劇サークルあいの代表の福地百合子さん。

ボランティア講座で出会った5人が立ち上げた当サークルは、1980年の発足以来40年以上、幼稚園や保育所、高齢者施設などで人形劇の公演を精力的に行ってきました。現在は30代から80代のメンバー16名が活動しています。

演目は多種多様で、季節や観客の年齢に合わせて選んでいるそうです。人形や小道具類はすべて手作りです。はびすしらおかの会議室を借りての練習に使った蛙のぬいぐるみは、緑色の布にスポンジを挟み込んで縫ったもので、裁縫が好きな伊藤武子さんは、「長年使っていて愛着があり、人形作りはとても楽しいです」と話してくれました。

黒い幕を張った舞台の向こうで人形を操る者、観客の目になってチェックする者。二手に分かれて練習開始。演目は子どもたちに人気の『さつまのおいも』。「そこ、頭が見えてるよ」「出が遅い」「そろってないよ」などと厳しいダメ出しが飛び交う練習風景にこちらも身が引き締まります。

「仲間がいるから頑張れます」「子どもたちの笑顔が原動力になります」練習を終え、額に汗を浮かべたみなさんの顔が輝いて見えました。



しらおか子育て応援ラボ



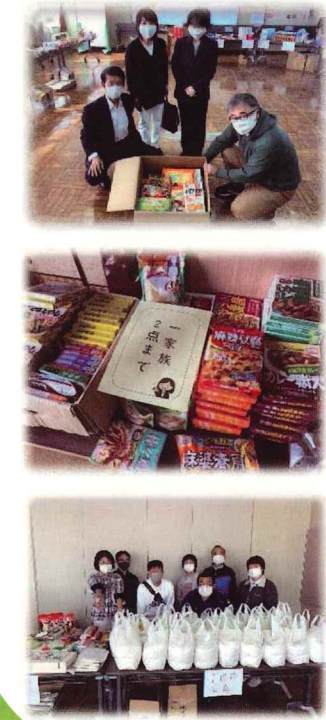
しらおか子育て応援ラボは、2020年3月、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困っている子育て家庭や、さまざまな我慢を強いられている子どもたちなどを応援するために立ち上げられた団体です。

各家庭や支援団体から寄付された食料品を、必要としている家庭に提供するフードパントリー・フードドライブ事業、市内協力飲食店のお楽しみ弁当購入者に、子ども弁当を無料提供するOBENTO事業、市特産の梨「白岡美人」をテーマにした絵画の展覧会「白岡美人絵画コンテスト」事業などを展開し、子育て家庭と子どもたちの不安や負担を軽減し、支える活動をしています。

「できることを できるだけ おもいをこめて」少しずつかまいませんので、多くの方にご協力いただけるとありがたいです。



フェイスブック facebook で 情報発信中!



子育て カフェ

子育て中の保護者の悩みや疑問にお答えします！

今回のテーマは、「市内小・中学校におけるタブレット端末の活用」についてです。

子どもたちが、タブレット端末をどのように使っているのか、校長先生方にお話を伺いました。

Q タブレット端末の活用はいつから始まりましたか？

A 白岡市小・中学校GIGAスクール構想推進事業により、小・中学生に一人一台のタブレット端末が貸与され、市内全小・中学校で令和三年四月から始まりました。

〈タブレット端末〉



机上に立てた状態



ケースは小学校、中学校により異なるものを使用しています。

Q 学校ではタブレット端末をどのように使っていますか？

A 画面の問題をノートに解いてドリル学習をしたり、観察や実験の記録を写真に撮って観察の時間に見て確認したりしています。また、資料や写真を拡大して見たり、画面上で意見交換をしたりしています。QRコードがついている教科書では発音練習などにも活用できます。学年の実態や教科等の特性を考えながら、よりよい活用ができるよう工夫しています。

Q どのようなオンライン授業をしていますか？

A 分散登校期間に、学級の半分の児童生徒は教室で、登校しない半分の児童生徒は自宅で、同じ時間に同じ授業を受けました。また、教員が学校で、児童生徒は全員自宅で参加することもありました。学校では児童生徒の顔を見ながら、家庭では学校にいる友だちや先生、黒板などを見ながら、学習課題を確認したり、まとめを共有したりしました。スムーズにつながらないこともあり、試行錯誤しながらではありますが、対面授業ができない場合のみにとどまらず、情報通信技術（ICT）を活用した教育を研究しながら進めています。

〈オンライン授業の様子〉



西小学校



白岡中学校

Q 子どもが遊びに使用したり、インターネットを見すぎたりしないか心配ですが…。

A 使用できるアプリが制限されています。また、有害サイト等をブロックする機能が設定されています。小学生用については、深夜時間帯の使用時間が制限されています。各学校においても、使用のきまりやルールを設けています。ご家庭でも見守りやアドバイスをお願いします。

白岡のかがやきびと

内田 美智子さん

天気がいい日の午前中は、よく白岡東小の校庭で除草をされています。きっかけは、親子除草の行事に参加したことだそうです。お子様の卒業後も学校応援団として、かれこれ二十近く続けておられます。「除草はストレス解消にもってこいなんですよ」と内田さん。

休み時間には、たくさんの子どもたちが内田さんに声をかけてきます。草花や木の実の名前を教えてあげたり、時には子どもたちの何気ないおしゃべりに付き合ったりします。当時の校長先生から「授業が始まっても校舎に入らずに泣いている低学年の児童がいて、内田さんが作業をしながらその子にずっと付き添ってくれたことがありました。除草以外にもいろいろ助けられました」というエピソードをお聞きしました。

最近、新型コロナウイルス感染症の影響のため、小学校ではなく、高岩公園で除草をしています。地域の子どもたちが安全に楽しく過ごせるようにとの思いに変わっていません。



子どもに寄り添う活動を続ける内田 美智子さん

私たちは「町ぐるみん白岡」の活動を応援しています。

株式会社サンワ環境開発
白岡蓮田環境事業協同組合
白岡ライオンズクラブ
大成ラミック株式会社
テクパーク白岡協同組合
株式会社トムス
有限会社西野商事
日産化学株式会社

(敬称略、五十音順)



発行：「町ぐるみん白岡」
編集：「町ぐるみん白岡」
広報委員会
事務局：白岡市いきいき教育課内
電話：0480-92-1111 内線 275